※令和４年度以降入学生用

学校番号	411

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）日本史演習	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	日本史探究（実教出版）						
副教材等	最新日本史図表 2025（第一学習社）、新日本史研究ノート応用編（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次に学習・考察した日本史探究の内容を、同時代史やテーマ史といった違う観点から見直すことで、より深く考察し、理解の深化につなげていってください。また、史料やグラフ、写真の読解や分析を通じて、当時の価値観に触れ、現代とは異なる考え方・見方を学んでいってください。さらに、各個人でのテーマに応じた分析を行い、発表を通じた相互理解を図っていってください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
同時代の各分野の関連性やテーマ毎の流れを理解できている。史料やグラフから基本事項を読み解くことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
同時代史・テーマ史の相互の結びつきを考察し、日本の歴史をより広く・深く捉える視点を涵養する。史料やグラフ等の読解から当時の思想や心情を考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
習得した日本史の知識や思考をもとに、歴史の多面的・多角的な考察を深めようとする態度・姿勢をするとともに、複雑な現代社会の諸課題に主体的に対応しようとする日本国民としての資質を身につけようとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日本史探究の学習成果をもとに、同時代の横のつながりと、テーマ毎の縦のつながりをとらえることができている。 ・史料やグラフ、図などから歴史事象を読み解く技能を身につけている。	・同時代史・テーマ史という観点から、日本史探究で学習した成果をより深く考察することができる。 ・史料や図の読解から、当時の歴史事象を判断することができる。 ・歴史の動きや構造を多面的・多角的に考察し、他者に伝わるように表現することができる。	・様々な観点、価値観からの歴史に興味・関心を持ち、独自のテーマをたて、主体的・意欲的に日本の歴史課題を追究する態度を持つ。 ・歴史に関する課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第2部　中世の日本と世界 第1部　原始・古代の日本と東アジア	古代史 中世史	a：古代・中世における国家体制の変化とその要因、日本・朝鮮・中国の外交関係の変遷に伴う日本社会への影響、各時期の文化の推移とその要因など、同時代史・テーマ史の観点から、歴史事象を結びつけることができる。 ・難解な古代・中世の史料や遺跡や遺物の図・写真から歴史事象を読み解く技能をもっている。 b：同時代史・テーマ史といった観点から古代・中世の日本社会の変遷やかかわりを多面的・多角的に考察し，表現している。 　史料や図・写真の読解から、古代・中世の日本社会の実相を的確に考察し、表現できている。 c：古代・中世社会についての問いをたて、生徒自身の歴史観に基づいて、課題意識をもって仮説を立て、その検証を行おうとしている。 ・教科書には載せられていない部分への教師からの問いかけに対し、課題意識や興味関心をもっている。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	第４部　近現代の地域・日本と世界（第１章　開国から倒幕へ～第５章　十五年戦争と日本） 第３部　近世の日本と世界	近世史 近代史	a：近世・近代における国家体制の変化とその要因、日本と諸外国の外交関係の変遷に伴う日本社会への影響、各時期の文化の推移とその要因など、同時代史・テーマ史の観点から、歴史事象を結びつけることができる。 　多岐に渡る近世・近代の史料やグラフ・写真から歴史事象を読み解く技能をもっている。 b：同時代史・テーマ史といった観点から近世・近代の日本社会の変遷やかかわりを多面的・多角的に考察し，表現している。 　史料や図・写真の読解から、近世・近代の日本社会の実相を的確に考察し、表現できている。 c：近世・近代社会の発展についての問いをたて、生徒自身の歴史観に基づいて、課題意識をもって仮説を立て、その検証を行おうとしている。 ・教科書には載せられていない部分への教師からの問いかけに対し、課題意識や興味関心をもっている。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	第4部　近現代の地域・日本と世界（第6章　戦後日本の形成　第7章　グローバル化のなかの現代日本）	現代史	a：現代における日本と世界の政治・経済の結びつき、日本と諸外国の外交関係の変遷に伴う日本社会への影響、各時期の文化の推移とその要因などを、同時代史・テーマ史の観点から、歴史事象を結びつけることができる。 ・現代の細やかな史料やグラフ・写真から歴史事象を読み解く技能をもっている。 b：同時代史・テーマ史といった観点から現代の日本社会の変遷やかかわりを多面的・多角的に考察し，表現している。 　史料や図・写真の読解から、現代日本社会の実相を的確に考察し、表現できている。 c：現代社会の発展や世界との結びつきについての問いをたて、生徒自身の歴史観に基づいて、課題意識をもって仮説を立て、その検証を行おうとしている。 ・教科書には載せられていない部分への教師からの問いかけに対し、課題意識や興味関心をもっている。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・準拠ノート ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度